

第2回 蛋白質研究所 特別セミナー

核磁気共鳴法による

膜タンパク質の*in situ* 機能解明

嶋田 一夫 先生

Ichio SHIMADA, Ph.D.

理化学研究所 生命機能科学研究センター
生体分子動的構造研究チーム

DATE: 5月9日 (木), 2024

TIME: 16:30 – 17:30

Venue: 蛋白質研究所 講堂

Zoom ハイブリッド開催 (事前登録制)

膜タンパク質は生体内において重要な役割を果たすとともに最大の創薬標的タンパク質である。X線結晶構造解析および電子顕微鏡法は、膜タンパク質の機能メカニズムの解明に大きく貢献してきた。我々は膜タンパク質が機能している溶液中や生体膜中など *in situ* 状態の動的な構造や分子間相互作用を解明することを目的として核磁気共鳴法(NMR)を用いて、Gタンパク質共役受容体(GPCR)、イオンチャネルなどの機能解明を行ってきた。本発表では、最近の成果を交え、我々の取り組みを紹介する。



Zoom (事前登録)
<https://x.gd/ZQ4al>

INSTITUTE for
PROTEIN RESEARCH
大阪大学 蛋白質研究所

Contact

蛋白質研究所 研究戦略推進室
uraoffice*protein.osaka-u.ac.jp (*を@に変更)

発表内容の写真・ビデオ撮影や録音、または PC やスマートフォンの機能 (スナップショット、スクリーンショット等) を利用した画面録画は禁止です。